

平成28年度 農林水産常任委員会管内視察の概要

■視察日 平成28年8月2日(火)

■視察者 農林水産常任委員(8名)
高野洋介(委員長)、早田順一(副委員長)、村上寅美、
前川 收、西 聖一、楠本千秋、松野明美、吉田孝平

■視察先

- ①菊池市旭志
- ②南阿蘇村乙ケ瀬
- ③南阿蘇村久木野庁舎
- ④御船町日向
- ⑤美里町甲佐平

■視察趣旨 平成28年熊本地震及び地震後の豪雨による農地、林地等の被害状況を視察し、あわせて地元関係者と意見交換を行うことにより、今後の委員会審議の参考とすることを目的として実施。

■視察の概要

①菊池市旭志

畜産農家の施設を訪れ、地震による被害状況について視察を行った。

牛舎及び堆肥舎12棟のうち、牛舎5棟全壊、堆肥舎2棟損壊のほか、設備、機械等の損壊、肥育牛1頭死亡など、甚大な被害を受けられていた。

牛舎が全壊し、やむなく早期出荷をしたり、残った牛舎に詰め込んでいる状態で、過密になった牛の出荷を続けている。

通常、肥育は導入後20カ月で出荷するが、震災後3カ月ぐらいは導入が減少し、導入できなかった月もあるため、その20カ月後の出荷ができない。その間は収入が途絶えるが、餌代などの支払いはあるとのこと。



②南阿蘇村乙ケ瀬

震災による林地、農地の被害状況について視察を行った。

乙ケ瀬地区は86戸、220人余りの地区。

上部の林地約0.5ヘクタールが地滑りのために崩壊し、これにより水田約4ヘクタールが崩壊している。



この集落の復旧意欲は高く、被災した水田も含め圃場整備、区画整理を行い復旧しようとの住民の意思が固まったとのこと。

③南阿蘇村久木野庁舎

久木野庁舎を訪問し、村関係者から被害状況の説明を受け、意見交換を行った。

道路の寸断や落橋など、復旧のめどが立たない状況で、農業関係でも農地、農業施設などが被災し、さらに6月の豪雨により二次的な土砂災害が発生したとのこと。

特に、財政面、人員不足等の懸念があり、国、県による支援の必要性を訴えられた。

被害状況等の説明を受けた後、活発な意見交換が行われた。



④御船町日向

地震後の豪雨による農地の被害状況について視察を行った。

車中にて被害状況を確認し、あわせて関係者から説明を聴取した。



⑤美里町甲佐平

地震後の豪雨による農地の被害状況について視察を行った。

この地区の農家は高齢者が多く、激甚災害の指定を受けたとしても、復旧にかかる個人負担を考えると、今後の営農は厳しいとのこと。

また、耕作放棄地がふえることによる鳥獣被害の増加などを懸念されていた。

そのほか、今後の対応に関し、関係者との質疑応答が行われた。

